

第 4 回全国在宅医療会議	資料	第 7 回全国在宅医療会議 WG	参考
平成 3 0 年 4 月 2 5 日	1 - 1 一部改変	平成 3 0 年 9 月 2 6 日	資料 2-2

重点分野に関する取組の「7つの柱」の策定について

1. 重点分野に関する取組の「7つの柱」の策定について

- 高齢化の進展や地域医療構想による病床の機能分化・連携により、在宅医療等の需要増加が見込まれる 2025 年に向けて、重点分野に関する取組を進めていくにあたり、各団体が連携し、計画的に取り組む必要がある。
- そのため、重点分野を具体化するため、各団体の現在の取組や課題を整理し、重点分野とひもづけるため集約した「7つの柱」を策定することとしたい。

2. 論点

【7つの柱の策定について】

- 各団体から提出された課題を、事務局において整理し、7つの柱に分類した。これらについて、分類や文言等が適切なものとなっているか。

【7つの柱に対応していくための考え方について】

- 重点分野に対応していくために、今後、各団体が活動方針等を定めるにあたっては、7つの柱を踏まえた形で共通認識をもって取組を進めていってはどうか。また、各団体はその規模や特性に応じた取組を行っていってはどうか。
- ただし、7つの柱に関する取組の進捗にムラが生じないように、全国在宅医療会議の場で意見交換等をしていくこととしてはどうか。そのため、7つの柱への取組、成果に関する自己評価を 1 年に 1 度を目安に、全国在宅医療会議に報告してはどうか。
- その上で、取組が進んでいないものや、団体同士で連携して取り組めることについても検討を進めてはどうか。

【国民への普及・啓発について】

- 国民への普及・啓発については、各団体とも直接国民に対しての取組は少なかった。団体の枠を越えて、取り組むべき重要な課題であるため、国民への普及啓発については、WG 内で小グループを構成し具体的な取組について集中的に議論を行ってはどうか。